

令和8年度森林環境譲与税の用途について

1 森林環境譲与税の概要

森林環境譲与税は、令和元年度に施行された「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」に基づき、国から都道府県及び区市町村に配分される。

区市町村においては、間伐等の「森林の整備に関する施策」と、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林の整備の促進に関する施策」に充てることとされている。

2 森林環境譲与税の活用の考え方

区では、森林環境譲与税を原則として以下の用途に活用している。

(1) 公共建築物の木質化

「台東区建築物等における木材利用の促進に関する方針」（令和4年7月施行）に基づき、公共建築物の木質化を図る。なお、多くの区民の利用が見込まれる施設や子供達が利用する施設を優先する。

(2) 自治体連携によるカーボン・オフセット事業

他の自治体と連携して森林整備に取り組むことで、カーボン・オフセットによる温室効果ガス排出量の相殺を行い、脱炭素化を推進する。

(3) その他普及啓発事業

木材利用の促進を図るため、木材の持つ良さや木材利用の意義について、区民等に対し普及及び啓発の推進に努める。

3 令和8年度 森林環境譲与税の用途

(1) 「多摩の森」活性化プロジェクト

- ・森林整備：約10.4ha（八王子市）、約7.6ha（青梅市）
CO₂吸収量（見込み） 約540t-CO₂/5年
- ・「多摩の森」自然体験ツアー：計14回開催、台東区民延80人募集予定
- ・ノベルティグッズの製作：品目は未定

(2) 「おおさき未来の森づくり」植樹ツアー

姉妹都市である宮城県大崎市にて実施するイベント「おおさき未来の森づくり」に区民が参加し、植樹や自然体験を行うツアーを開催する。

- ・対象：台東区在住の小学生とその保護者
- ・定員：10組20名
- ・植樹場所：大崎市内の市有林

(3) 施設改修工事

①中央図書館こどもとしょしつ

生涯学習センター機能強化等改修工事に伴い、中央図書館こどもとしょしつの書架や床等に大崎市等の国産木材を使用する。

②金曾木小学校

金曾木小学校の大規模改修及び増築工事に伴い、書棚やロッカー等に国産木材を使用する。

事業名	事業費	財源内訳		
		森林環境基金 とりくずし	森林環境 譲与税	その他財源
(1) 「多摩の森」 活性化プロジェクト	7,629 千円	7,629 千円	0 円	0 円
(2) 「おおさき未来の森づくり」 植樹ツアー	1,031 千円	1,031 千円	0 円	0 円
(3) 中央図書館 機能強化等改修	1,068,296 千円	51,499 千円	11,521 千円	1,005,276 千円
	金曾木小学校 大規模改修・増築	2,114,272 千円	61,686 千円	13,800 千円
計	3,191,228 千円	121,845 千円	25,321 千円	3,044,062 千円

【参考】森林環境基金積立金の状況

年度	積立金額		とりくずし		積立金残高 (年度末)
	譲与税収入	運用益	金額	用途	
6年度	24,081,000 円	125,440 円	5,778,000 円	・「多摩の森」活性化プロジェクト ・ゼロカーボン啓発品	103,421,386 円
7年度 (見込み)	26,383,000 円	289,000 円	8,249,000 円	・「多摩の森」活性化プロジェクト ・「おおさき未来の森づくり」植樹ツアー	121,844,386 円
8年度 (予算案)	0 円	0 円	121,844,386 円	・「多摩の森」活性化プロジェクト ・「おおさき未来の森づくり」植樹ツアー ・施設改修工事	0 円